

プレスリリース
2019年5月

マックス・ビルバイ ユンハンス エディション **2019** セット
形と機能の美



2019 年限定モデルのマックス・ビルバイ ユンハンス エディション **2019** セットはメカニズムの魅力を不変のデザインで表現しています。

マックス・ビルバイ ユンハンス エディション **2019** セットは 2019 年の世界限定 222 個、魅力的な時計のメカニズムに徹底的に焦点を当てています。自動巻クロノグラフの腕時計と 8 日巻き機械式ムーブメント内蔵のテーブルクロックがセットになっていて、どちらのムーブメントもシュヴァルツヴァルト地方にあるユンハンス本社工場で伝統的な時計作りの技巧により組み立てられており、時計愛好家やコレクターを熱狂させるような逸品になっています。



マックス・ビル バイ ユンハンス エディションは、1956年からユンハンスがコラボレーションを行っていた芸術家マックス・ビルへのオマージュです。セットになっている2つの時計は彼の創作分野である構成主義絵画とミニマルイズムの製品デザインを結び合わせて生まれたものであり、これ以上ないほど明晰なコンセプト



で表現されています。腕時計はマット仕上げのシルバーダイアルが“容は機能に順ずる”というマックス・ビルのコンセプト通り可読性が非常に優れています。デザインはマックス・ビル自身が1961年に設計した腕時計を忠実に再現しています。控えめな色彩のダイアルがはっきりコントラストをなしているのは、ルミナス加工を施した針、数字、そしてカーフレーストラップなどすべてが質素なブラックカラーに保たれているからです。ピュアであることを追求したデザインは、ブラックのピアノラッカー塗り木製ケースに収まったテーブルクロックにも見られます。どちらの時計にもマックス・ビルのサインが時計のケースバックに記されていて、この芸術家の「quinze varia-

tions sur un même thème (1つの主題による15のバリエーション)」シリーズの作品“バリエーション15”も見られるので、ファンにとってはたまらない作品です。マックス・ビルは彼の作品である“バリエーション15”を、幾何学的な基本主題をもとに、「サーキュラーリングからなる渦巻きのような運動」説明しています。

バウハウス創立100周年を記念したマックス・ビル バイ ユンハンス エディション2019 セットは、ピュアであることを追求したデザインを時計の魅力的なメカニズムと一つに合わせ、“マックス・ビルの存在に感謝することを目的とした”タイムピースです。

問い合わせ先

ユーロパッション株式会社 マーケティング部 広報 石川
101-0042 千代田区神田東松下町30番地 TKビル4F
Tell : 03-5295-0411 Email : info-ep@europassion.co.jp



JUNGHANS

マックス・ビルバイ ユンハンス エディション 2019 セット 仕様



363/2919.00

予価:450,000 円 (税抜)

限定 222 セット、2019 年 7 月発売予定

Wristwatch

- ムーブメント:** 自動巻クロノグラフムーブメント J880.2、48 時間パワーリザーブ、日付・曜日表示
(英語表示バージョンもご用意しております)
- 機能:** クロノグラフ、30 分および 12 時間積算計、日付、曜日 (英語表示)
- ケース:** ステンレススチール 直径 40.0 mm、厚さ 14.4 mm、
- 風防:** 両面反射防止加工ドーム型サファイアクリスタル
- ケースバック:** 「1つの主題による 15 のバリエーション」シリーズのグラフィック作品「バリエーション 15」をミネラルガラスの内側にプリント、
- ダイアル:** マット仕上げのシルバーダイアル
- 針:** 環境にやさしいブラックのスーパールミノバ針
- ストラップ:** カーフレザーストラップ
- 防水性:** 3 気圧防水

Table clock

- ムーブメント:** 手巻機械式ムーブメント J915.1、8 日間パワーリザーブ
- ケース:** ピアノラッカー塗り木製ケース、165 mm x 175 mm、ダイヤモンドカットのアルミニウムフロントリング、ミネラルガラス、グラフィックデザインをプリントしたケースバック
- ダイアル:** ホワイト マット仕上げ
- 針:** ポリッシュ仕上げ

問い合わせ先

ユーロパッション株式会社 マーケティング部 広報 石川
101-0042 千代田区神田東松下町 30 番地 TK ビル 4F
Tell : 03-5295-0411 Email : info-ep@europassion.co.jp

Junghans – Live your style

150 年以上にわたり、ユンハンスは「時」にかたちを与えてきました。細部への徹底したこだわり、ハイレベルのデザインを追求する姿勢、すぐれた品質、そして何世代にもわたって蓄積されてきたテクノロジーのノウハウが 1861 年の創業以来、ユンハンスの時計を特徴づけています。ドイツ南西部シュヴァルツヴァルトのシュランベルクに本社を構えるユンハンスのサクセスストーリーはまさにそうした価値観を基礎にしているのです。すでに 1903 年に、ユンハンスは 3000 人以上の従業員を抱える世界最大の時計メーカーでした。精密なムーブメントの開発によって、1951 年にはドイツ最大の、そして 1956 年には世界第 3 位のクロノメーターメーカーとなりました。1972 年に開催されたミュンヘン・オリンピックでは公式タイムキーパーを務め、時間計測の分野で新基準を打ち立てました。そして波瀾に満ちた激動の歴史を経て、2009 年にはシュランベルクの実業家ハンス＝ヨッヘム・シュタイム、ハネス・シュタイムが経営を引き受け、新たな成長の時代に入っています。ユンハンスは現在でもなお全時計製品を、歴史ある本社内で製造しています。2018 年には本社にあるテラス式建物が 100 周年を迎え、新たな息吹を与えられました。長年にわたり、ユンハンスの時計製造の心臓部として光輝いてきたこの産業用建築の記念碑的な建物がシュヴァルツヴァルトにおける時計製造の伝統を体験できるミュージアムになりました。最新コレクションにも、ユンハンスのデザインおよび時計製造の長い伝統が活かされ、現代にふさわしい形で取り入れられていることがわかります。1930 年代以来製造されているマイスターコレクションやマックス・ビルのタイムピースはその好例です。1956 年にスイス人デザイナー、マックス・ビルと共同でデザインされたクラシックなバウハウス・ウォッチ、マックス・ビルコレクションは、今日も当初のデザインとほとんど変わらない形で製造されています。1990 年にはユンハンスは初の電波腕時計を発明し、新基準を打ち立てました。2018 年、新世代のインテリジェント電波式ムーブメントを開発し、優れた精度と正確性によってこのテクノロジーが新たに注目を集めています。ユンハンスの時計のクリアなデザイン言語は、社の歴史に一貫して息づいています。最も新しいところでは、無駄を省いたシンプルな表現の **FORM** コレクションがその例で、スタイリッシュなモデルにそうしたデザイン言語があらわれています。その洗練された完璧なデザインによって、ユンハンス時計は 150 年以上にわたり、時計製造とデザインの見事な融合を実現しています。

問い合わせ先

ユーロパッション株式会社 マーケティング部 広報 石川
101-0042 千代田区神田東松下町 30 番地 TK ビル 4F
Tell : 03-5295-0411 Email : info-ep@europassion.co.jp